

2021年3月期第2四半期 決算説明

2020年11月

 日本カーバイド工業株式会社

アジェンダ

- 1. 2021年3月期第2四半期決算の概要**
- 2. 2021年3月期通期業績予想**
- 3. 中期経営計画「NCI-2021」進捗状況**

1. 2021年3月期第2四半期決算の概要

サマリー【連結損益計算書】

新型コロナウイルス感染拡大の影響により減収減益となったものの、
 想定よりも影響幅は小さく、当初業績予想より利益が若干上振れ
 売上高はほぼ当初業績予想通りで、前年同期比▲14.2%の減収
 営業利益は当初業績予想から+486百万円、前年同期比▲56.5%の減益
 営業利益率は前年同期比▲2.4ポイントの2.5%

単位：百万円（1株あたり純利益除く）

	2021年3月期第2四半期		2021年3月期 第2四半期	当初業績予想比		2020年3月期第2四半期		前年同期比	
	実績	利益率	当初業績予想	増減額	増減率	実績	利益率	増減額	増減率
売上高	19,431	—	19,500	▲ 69	▲0.4%	22,658	—	▲ 3,227	▲14.2%
営業利益	486	2.5%	0	486	—	1,119	4.9%	▲ 633	▲56.5%
経常利益	569	2.9%	100	469	+469.0%	1,170	5.2%	▲ 601	▲51.3%
四半期純利益	5	0.0%	0	5	—	742	3.3%	▲ 737	▲99.3%
1株当たり純利益	0.62円	—	—	—	—	90.63円	—	—	—

※2020年5月20日に公表いたしました2021年3月期第2四半期の業績予想を10月28日に修正しておりますが、本表の「2021年3月期第2四半期当初業績予想」は、5月20日に公表いたしました業績予想の数値としています。

連結貸借対照表

自己資本比率は38.5%、
前連結会計年度末から1.4ポイント悪化

単位：百万円

	2021年3月期第2四半期 連結会計期間		2020年3月期		前期比増減額
	実績	構成比	実績	構成比	
流動資産 (うち棚卸資産)	34,413 (9,144)	54.7% (14.5%)	33,241 (8,152)	54.3% (13.3%)	1,171 (992)
固定資産	28,554	45.3%	28,000	45.7%	553
有形固定資産	24,323	38.6%	23,997	39.2%	326
無形固定資産	871	1.4%	913	1.5%	▲ 41
投資その他の資産	3,358	5.3%	3,089	5.0%	269
資産合計	62,967	100.0%	61,242	100.0%	1,724
流動負債	20,638	32.8%	21,370	34.9%	▲ 732
固定負債	16,613	26.4%	13,909	22.7%	2,703
負債合計	37,252	59.2%	35,280	57.6%	1,971
(うち借入金)	(20,180)	(32.0%)	(17,352)	(28.3%)	(2,828)
株主資本	18,323	29.1%	18,265	29.9%	57
その他の包括利益累計額	5,901	9.4%	6,176	10.1%	▲ 274
新株予約権	3	0.0%	4	0.0%	▲ 1
非支配株主持分	1,487	2.4%	1,516	2.5%	▲ 28
純資産合計	25,715	40.8%	25,962	42.4%	▲ 246

※参考

自己資本/自己資本比率

2021年3月期第2四半期 24,224百万円/38.5%

2020年3月期 24,441百万円/39.9%

セグメント概要

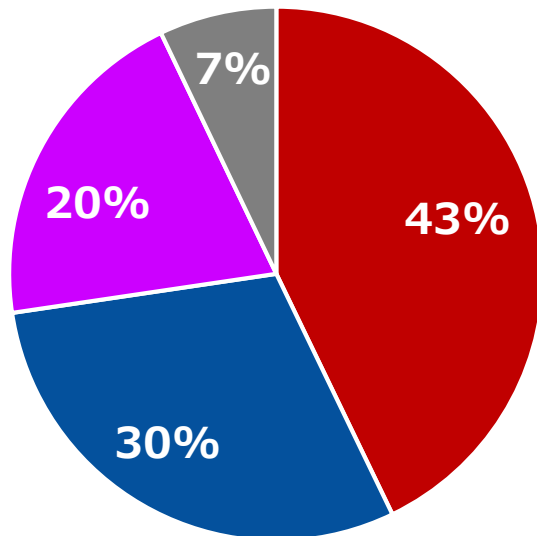
電子・機能製品事業は減収増益、フィルム・シート製品事業は減収減益、
 建材関連事業は減収減益、エンジニアリング事業は減収減益

(単位：百万円)

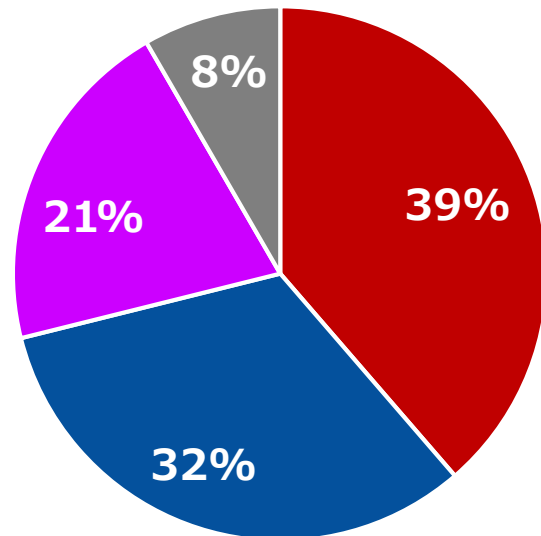
		2021年3月期		2020年3月期第2四半期	前年同期比	
		実績	構成比	実績	増減額	増減比
電子・機能製品	売上高	8,579	43.1%	8,987	▲ 408	▲4.5%
	営業利益	872	131.3%	792	80	+10.1%
フィルム・シート製品	売上高	5,851	29.4%	7,546	▲ 1,695	▲22.5%
	営業利益	▲ 226	▲34.0%	254	▲ 480	▲189.0%
建材関連	売上高	4,050	20.3%	4,773	▲ 723	▲15.1%
	営業利益	175	26.4%	288	▲ 113	▲39.2%
エンジニアリング	売上高	1,424	7.2%	1,941	▲ 517	▲26.6%
	営業利益	▲ 157	▲23.6%	▲ 21	▲ 136	-

セグメント別売上高比率

2021年3月期第2四半期
売上高実績
19,431百万円



2020年3月期第2四半期
売上高実績
22,658百万円



■ 電子・機能製品事業 ■ フィルム・シート製品事業 ■ 建材関連事業 ■ エンジニアリング事業

セグメント別状況 【電子・機能製品事業】

単位：百万円

		2021年3月期第2四半期	2020年3月期第2四半期	前年同期比	
		実績	実績	増減額	増減比
電子・機能製品	売上高	8,579	8,987	▲ 408	▲ 4.5%
	営業利益	872	792	80	+10.1%

機能化学品 増収増益

- 新型コロナウイルスPCR検査薬向けなど、医薬関連が堅調
- 半導体市場の好調に伴い、電子部材向け表面処理剤などが堅調

機能樹脂 減収減益

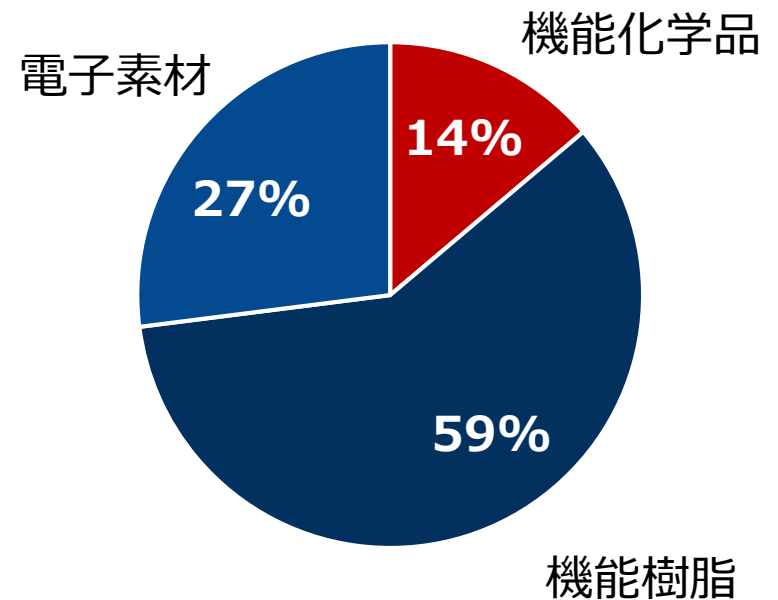
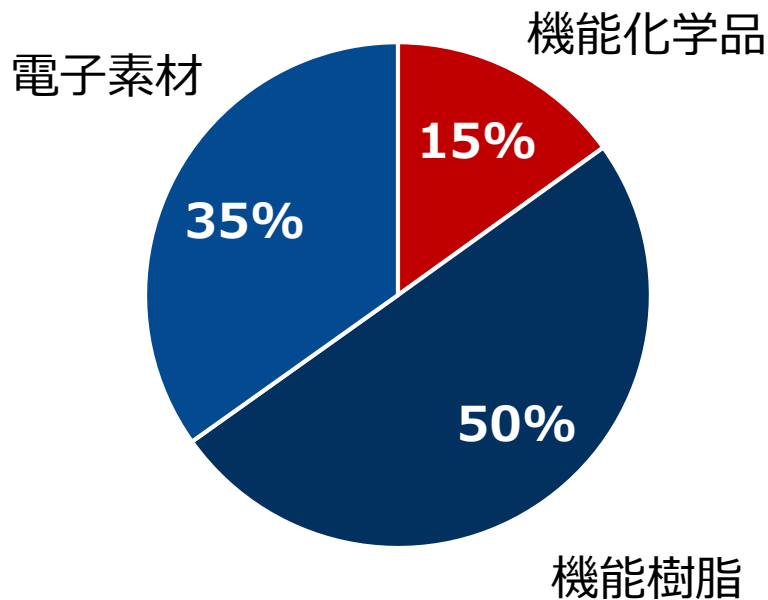
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、繊維（東南アジアの衣類・繊維関連の製造において操業率が低下）、自動車用途（自動車市場の低迷）、医薬向けの粘・接着剤（通院患者の減少）が低調

電子素材 増収増益

- テレワークの拡大や5Gの普及により、サーバーやタブレットなどスマートデバイス向けセラミック基板が好調
- 一方で、自動車市場の低迷により、車載用途でのセラミック基板需要は低調
- 半導体の製造工程にて使用される、半導体用金型クリーニング材は好調

2021年3月期第2四半期
売上高実績
8,579百万円

2020年3月期第2四半期
売上高実績
8,987百万円



セグメント別状況 【フィルム・シート製品事業】

単位：百万円

		2021年3月期第2四半期	2020年3月期第2四半期	前年同期比	
		実績	実績	増減額	増減比
フィルム・シート製品	売上高	5,851	7,546	▲ 1,695	▲ 22.5%
	営業利益	▲ 226	254	▲ 480	▲ 189.0%

フィルム・ステッカー 減収減益

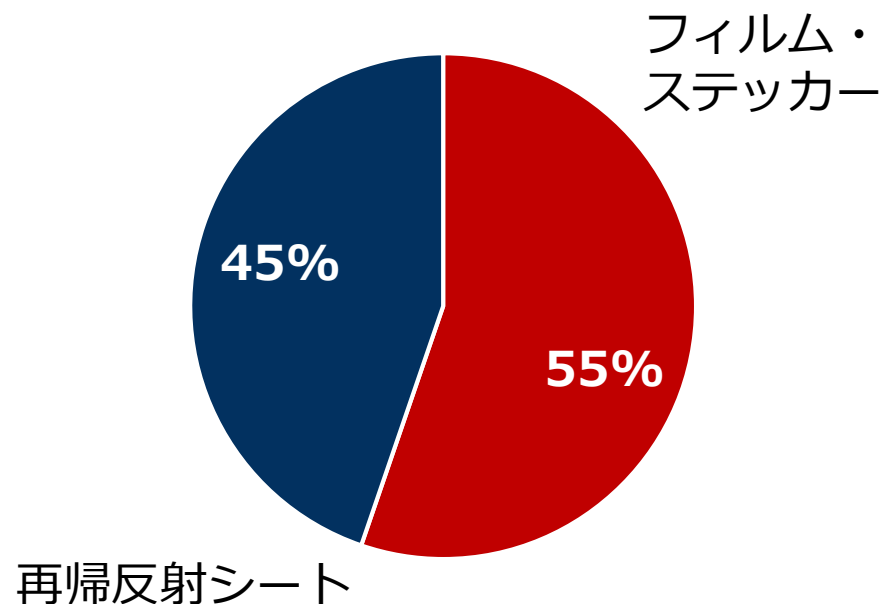
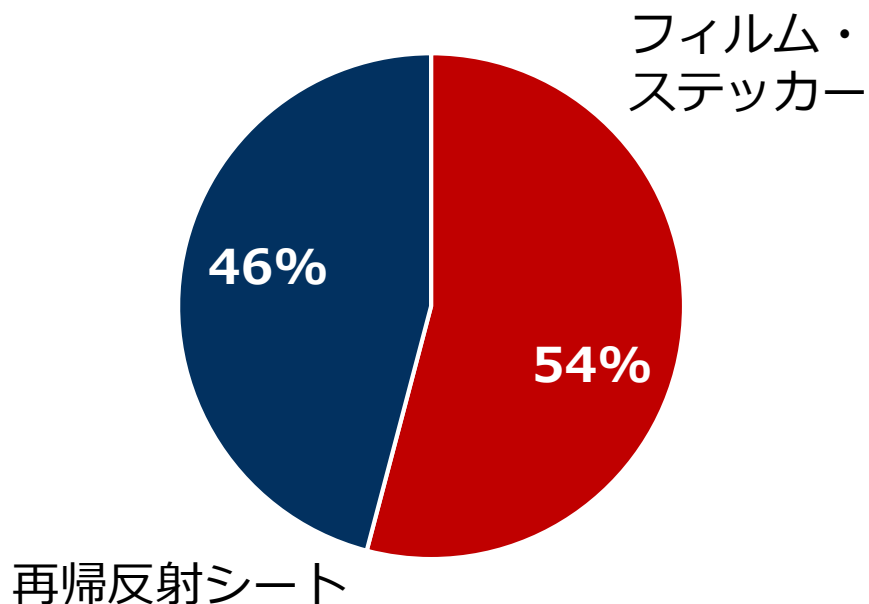
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、施工工事が中止・延期となり、看板用途のマーキングフィルムなどが低調
- また同上の理由で自動車市場が低迷し、ベトナム、インドネシアなどを中心にアセアン地域のステッカー販売が低調

再帰反射シート 減収減益

- 上記の理由による自動車市場の低迷により、主力の欧州やアジア向けカーナンバープレート用再帰反射シートの販売が低調

2021年3月期第2四半期
売上高実績
5,851百万円

2020年3月期第2四半期
売上高実績
7,546百万円



セグメント別状況 【建材関連事業】

単位：百万円

		2021年3月期第2四半期	2020年3月期第2四半期	前年同期比	
		実績	実績	増減額	増減比
建材関連	売上高	4,050	4,773	▲ 723	▲ 15.1%
	営業利益	175	288	▲ 113	▲ 39.2%

減収減益

- 住宅着工戸数の減少などにより、主力の手摺、笠木等の販売が低調
- 一方で、カーポート製品はキャンペーン等により増販。また、新型コロナウイルス感染予防対策として換気の推奨による需要増から網戸材が好調
- アルミ地金価格の下落が利益にプラス影響

セグメント別状況 【エンジニアリング事業】

単位：百万円

		2021年3月期第2四半期	2020年3月期第2四半期	前年同期比	
		実績	実績	増減額	増減比
エンジニアリング	売上高	1,424	1,941	▲ 517	▲ 26.6%
	営業利益	▲ 157	▲ 21	▲ 136	-

減収減益

新型コロナウイルス感染拡大の影響による海外向け案件の完工時期の遅れや、工事自体の延期や中止により、全体的に低調

2. 2021年3月期通期業績予想

新型コロナウイルス感染拡大の影響について

当初業績予想の前提

- 海外関係会社は12月決算のため、第1四半期（1～3月）は影響が軽微なもの、第2・3四半期（4～9月）に大きな影響が生じ、市況の回復は第4四半期（10月～）になる
- 国内関係会社は1月決算のため、第2四半期（5～7月）に大きな影響が生じるが、第4四半期（11月～）には市況が回復する
- 国内（日本カーバイド工業単体）は、第1・2四半期（4～9月）に大きな影響が生じるが、第3四半期以降（10月～）市況が回復する

	2021年3月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
海外関係会社 (除くインド)	1～3月 △	4～6月 ×	7～9月 ▲	10～12月 ○
国内関係会社	2～4月 △	5～7月 ×	8～10月 ▲	11～翌1月 ○
日本カーバイド工業単体	4～6月 ×	7～9月 ▲	10～12月 ○	翌1～3月 ○
連結全体	4～6月 △	7～9月 ×	10～12月 ▲	翌1～3月 ○

- ×：大きく影響を受ける
- △：影響を受ける
- ▲：影響を受けるが、大きさ不確実
- ：影響をあまり受けない

新型コロナウイルス感染拡大の影響について

今回業績予想の前提を変更

連結全体において、第1四半期・第2四半期は想定より影響幅は小さかったものの、第3四半期・第4四半期は当初想定よりも回復が遅れると予想

矢印左側マークが当初想定した前提、矢印右側マークが現時点で修正した前提

	2021年3月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
海外関係会社 (除くインド)	1~3月 △	4~6月 ×→△	7~9月 ▲→△	10~12月 ○→▲
国内関係会社	2~4月 △	5~7月 ×→△	8~10月 ▲→△	11~翌1月 ○→▲~○
日本カーバイド工業単体	4~6月 ×→△	7~9月 ▲→△	10~12月 ○→▲~○	翌1~3月 ○→▲~○
連結全体	4~6月 △	7~9月 ×→△	10~12月 ▲	翌1~3月 ○→▲~○

- × : 大きく影響を受ける
- △ : 影響を受ける
- ▲ : 影響を受けるが、大きさ不確実
- : 影響をあまり受けない

2021年3月期 連結業績予想

2021年3月期第2四半期は、2020年5月20日に公表していた当初業績予想より利益が若干上振れたものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響からの回復が当初想定より遅れると予想されるため、通期については、当初業績予想を据え置き

単位：百万円（1株当たり配当金除く）

	2021年3月期		2020年3月期		前期比	
	予想	利益率	実績	利益率	差額	増減率
売上高	42,500	—	46,699	—	▲ 4,199	▲ 9.0%
営業利益	1,200	2.8%	2,557	5.5%	▲ 1,357	▲ 53.1%
経常利益	1,250	2.9%	2,817	6.0%	▲ 1,567	▲ 55.6%
当期純利益	600	1.4%	1,741	3.7%	▲ 1,141	▲ 65.5%
1株当たり純利益	71.41円	—	212.57円	—	—	—

セグメント別下期業績予想 【電子・機能製品事業】

機能化学品と電子素材は前期比増収増益を見込むものの、機能樹脂が減収減益となるため、電子・機能製品事業は減収減益の見込み

機能化学品

医薬品関係や電子部材向け表面処理剤が引き続き堅調に推移すると見込む

機能樹脂

中国・アジア地域での新型コロナウイルス感染拡大の影響が継続し、回復が遅れる見込み

電子素材

テレワーク等の拡大による電子部品の伸長を受け、セラミック基板、半導体用金型クリーニング材とも引き続き好調の見込み。また、自動車市場の回復も車載用途向けセラミック基板の増販に寄与

セグメント別下期業績予想 【フィルム・シート製品事業】

フィルム・ステッカー、再帰反射シートとも前期比減収減益となり、フィルム・シート製品事業は減収減益の見込み

フィルム・ステッカー

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、低調であった国内フィルム販売は、6月を底に看板用途のマーキングフィルムなどを中心として回復の兆し

一方、東南アジアの二輪車市場の回復が想定より遅く、ステッカー販売は引き続き低調な推移が予想される中、3Dエンブレムなど高付加価値製品の拡販に注力

再帰反射シート

カーナンバープレート向けは、新型コロナウイルスの地域別状況に影響を受けており、中国ではすでに回復基調、その他地域でも中古車販売の回復基調を受け、販売の一定の回復を見込む

セグメント別下期業績予想【建材関連／エンジニアリング事業】

建材関連事業

住宅着工戸数の減少とアルミ地金など原材料価格の上昇が見込まれ、回復が遅れる見込み

エンジニアリング事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響による設備投資や工事計画の延期、中止が継続し、引き続き低調に推移

3. 中期経営計画「NCI-2021」進捗状況

コア事業のうち

高付加価値ビジネスを**成長戦略**とし

未来の社会に幅広く貢献する

持続的成長可能な化学系企業グループ

「コア事業」

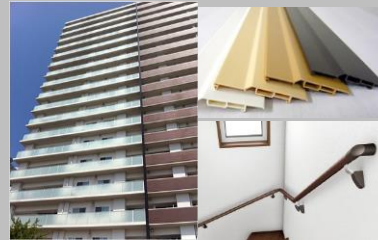
電子・機能製品事業



フィルム・シート製品
事業



建材関連事業



エンジニアリング事業



コア事業

戦略分野と「高付加価値ビジネス」

- 高付加価値ビジネス =
- ① コア事業のうち、**高機能樹脂**および**機能性フィルム**を**戦略分野**とする
 - ② 戦略分野×戦略分野

戦略分野

高機能樹脂

機能性
フィルム

戦略分野×戦略分野

高機能樹脂



機能性
フィルム

研究・製造・販売の融合
新商品開発、新市場開拓

「成長戦略」

コア事業のうち、高機能樹脂、機能性フィルムを戦略分野として、注力領域・成長地域への取組みを強化する



戦略分野×注力領域×成長地域 = 成長戦略

戦略分野		成長地域			
		日本	アジア	その他	
注力領域	セーフティ	難燃剤			
		医療用樹脂			
		医薬品原体			
		粘・接着剤			
		カーナンバープレート用／標識用／広告・看板用 再帰反射シート			
	モビリティ	レーザーマーキングラベル			
		空中ディスプレイ用リフレクター			
		車両用（外装・内装）フィルム 車両用グラフィックステッカー			
		グリーンシート	3Dエンブレム		
		チップ抵抗器用アルミナセラミック基板			

中期経営計画の考え方

成長

Vision
キラリと光る、価値ある企業グループ

中期経営計画 NCI-2021		
成長戦略への本格転換		
売上高	連結	570億円
	コア事業	420億円
営業利益	コア事業	45億円
営業利益率	コア事業	10%
ROA	連結	4.0%

2025年のありたい姿		
高付加価値ビジネスを成長戦略とし、持続的成長可能な化学系企業グループ		
売上高	コア事業	500億円
営業利益	コア事業	60億円
営業利益率	コア事業	12%
ROA	連結	5.0%

2019年度
(2020年3月期)

2021年度
(2022年3月期)

2025年度
(2026年3月期)

「2025年のありたい姿」の目標
およびそれに向けた大きな戦略は維持

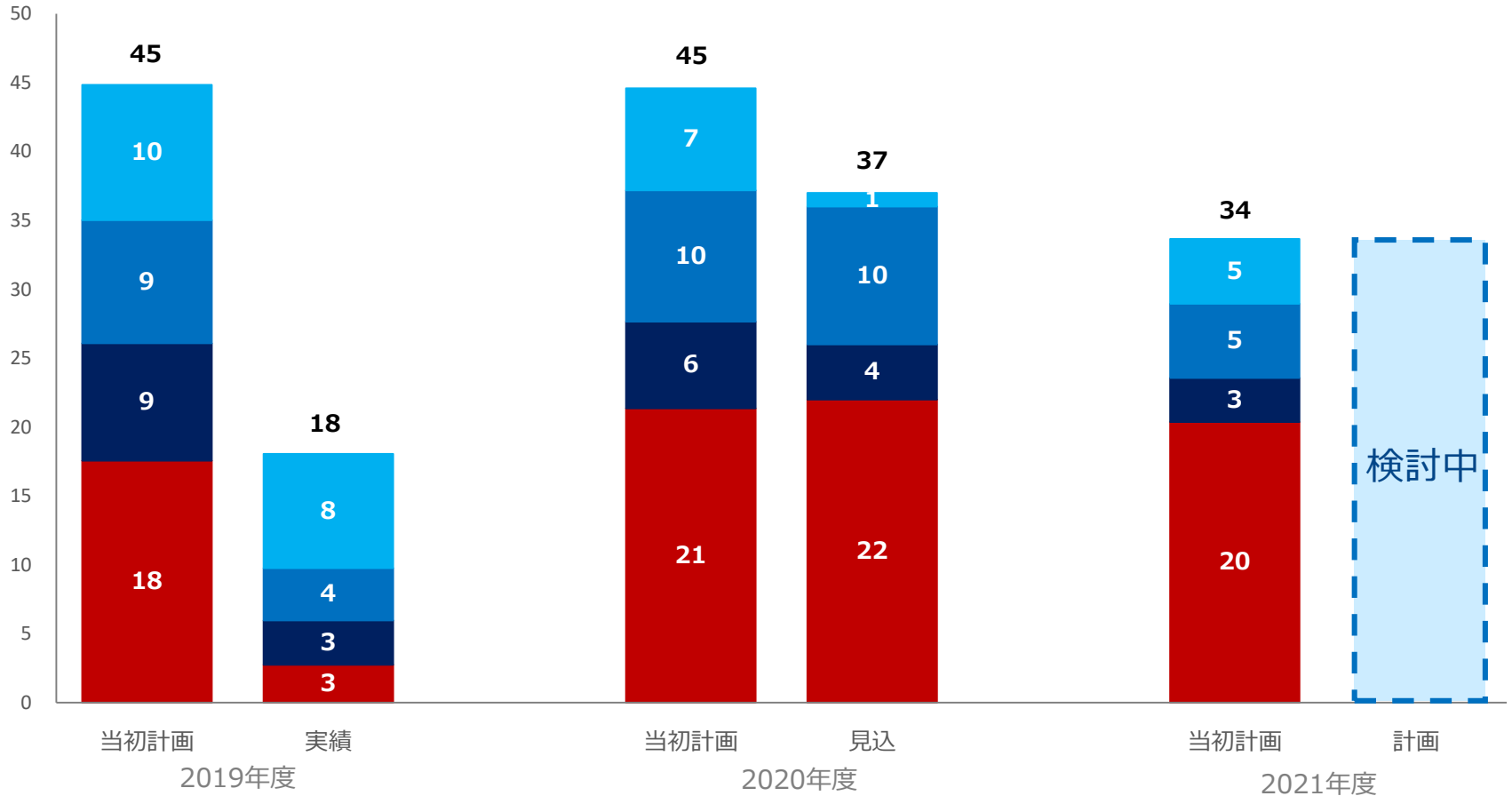


「NCI-2021」や「ありたい姿」の数値目標の達成時期や戦術、投資計画等については、新型コロナウイルス感染症の終息時期や市場の動向を見据えて再検討

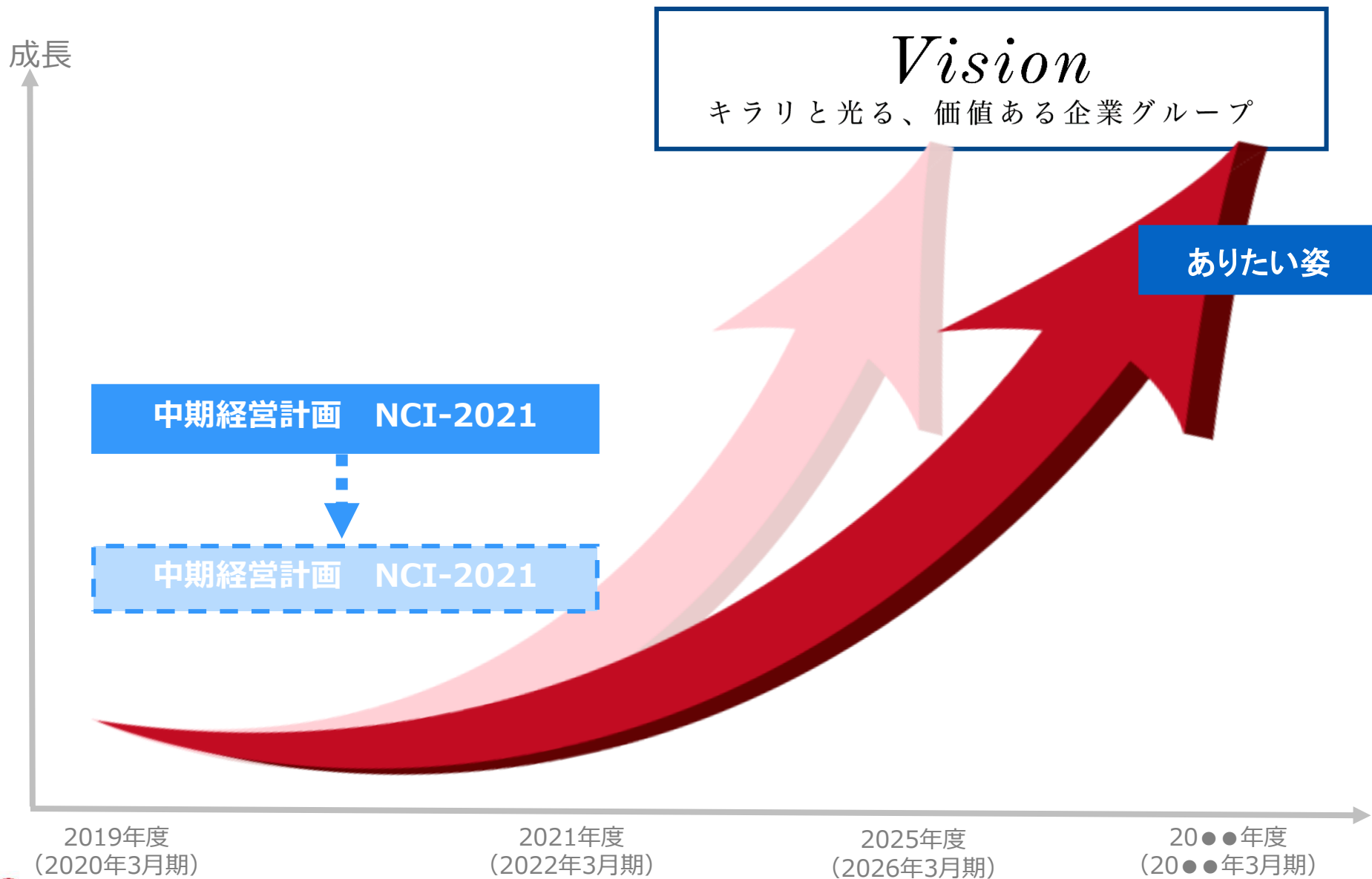
投資計画

■ 新規 ■ 更新・老朽化対応 ■ 研究・品質・安全その他 ■ 基幹システム

(単位：億円)



中期経営計画 スケジュールの再検討

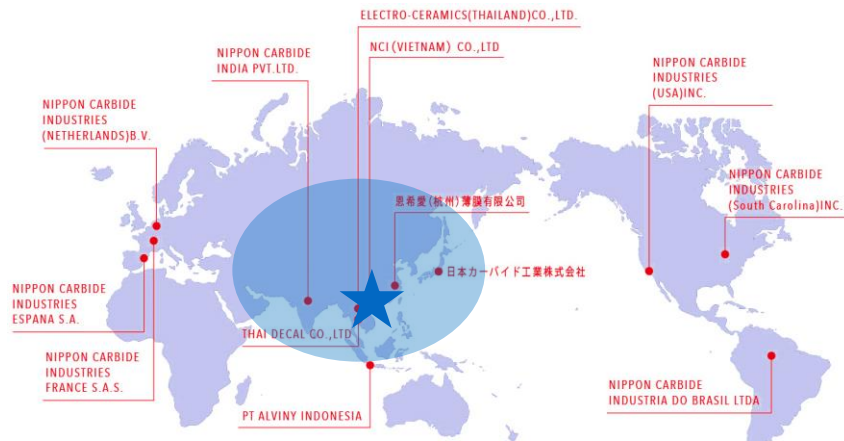


<TOPICS> コア事業（戦略分野）の成長戦略

ステッカー、3Dエンブレムの拡販

中計における位置づけ

戦略分野	注力領域	成長地域	
機能性フィルム	モビリティ	日本	アジア



新型コロナウイルス感染拡大の影響により遅れていたベトナム・NCI(VIETNAM) CO.,LTD.の生産ラインの増設が2020年8月に完了しました。2020年1月に完成した「技術開発センター」と共に、機能性フィルム関連のステッカー事業のハブとして、ステッカー、3Dエンブレムなどへの、より高度化するお客様のご要望に迅速にお応えすることを目指します。

<TOPICS> コア事業（戦略分野）の成長戦略

新規機能性フィルムと幅広フィルムの生産体制整備と拡販

中計における位置づけ		
戦略分野	注力領域	成長地域
機能性フィルム	モビリティ	日本 アジア



自動車向け（外装・内装・樹脂パーツなど）新規機能性フィルムや、海外向けラッピング用途としてニーズの強い幅広フィルムについて、中国・恩希愛（杭州）薄膜有限公司および早月工場での生産体制の整備や増設を計画しています。

<TOPICS> コア事業（戦略分野）の成長戦略

空中ディスプレイ技術を活用した非接触パネルが注目

中計における位置づけ		
戦略分野	注力領域	成長地域
機能性フィルム	セーフティ モビリティ	日本

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、空中ディスプレイ用リフレクターを活用した「非接触操作パネル」が注目を集めており、各方面からの問い合わせが増えています。2020年10月より販売が開始された日立オムロンターミナルソリューションズ様のクリーンな非接触操作を実現する空中入力装置や、2020年後半からの市場調査を経て、2021年に市場投入される予定のマクセル様の非接触HMI「Advanced Floating Image Display」（写真）に当社製品が採用されています。



「Advanced Floating Image Display」の表示イメージ（マクセルホールディングス株式会社様提供）

アナリスト／機関投資家の皆様からのご質問・お問い合わせ先

日本カーバイド工業株式会社

経営企画部 広報・IRグループ

メールにてお問い合わせください
prir@carbide.co.jp

【将来見通し等に関する注意事項】本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えないものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。